

釣行記（2016/07/30 船キス釣り）

久しぶり（1年ぶり）の釣行。やはり、その対象や釣法が何であれ、釣果はどうであれ楽しい。個人的には船釣りが特別に楽しみである。その釣行は概ね石川県内に限られているのだが、対象となる魚種が豊富であり、冬場の荒れた時期を除き春～晩秋まで楽しませてもらえる。その中でも夏～秋にかけての「シロギス」と夏場の「あかいか」は毎年、継続的にそれぞれ数回出動している。今回は仲間が揃ったので「船ギス」釣行となった。

金沢および近郊における遊漁船による「船キス釣り」における志向は、

- 1) 遊漁船はお客様一人当たりの料金が安い釣行を求める。
- 2) 遊漁船は魚価が低い魚種の釣行をお客様に勧めるのは忍びないと思う傾向がある。
- 3) 遊漁船は暑い中、実入りの少ない「船キス釣り」より、時期が同じで涼しい実入りの良い人気の「あかいか」を選択する。二兎は追わない。
- 4) 遊漁船は船キス釣りは人気がない（Myボートでやるもの）と思い込んでいるし、実際そうなのかも知れない。

以上の遊漁船の傾向より「船キス釣り」を取り合ってくれる遊漁船は極限られている。しかも仕立（貸切）であって、乗合は無い。よくTVの釣番組で放送されているような首



都圏の釣宿が営む「乗合の船キス釣り」は石川県内では無い。（知らないだけかも）

今回はその限られた遊漁船の一つを利用したものである。

<釣果>

シロギス40尾

マアジ2尾

近年は胴突き2本針仕掛けを試みている。天秤仕掛けと異なる釣味が醍醐味だが、まだ要領を得ないの発展途上。メリットは自祭りが少なく、手返しが良い事である。